

日本機械学会北陸信越支部特別講演会

「The Constructal Law は熱流体設計の普遍的法則になり得るか？」

共催: 金沢大学環日本海域環境研究センター

演題および講師

1. “The Constructal Law of Design in Nature”

Adrian Bejan, J.A.Jones Distinguished Professor of Mechanical Engineering
Duke University, U.S.

2. “Vascular Architecture for the Cooling of Smart Materials”

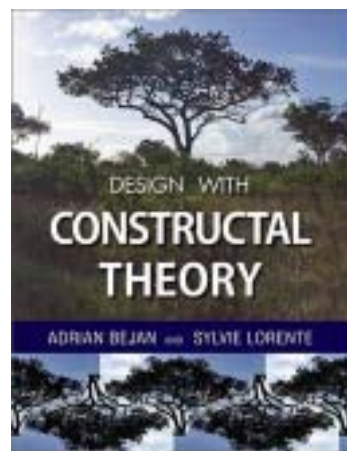
Sylvie Lorente, Professor, Université de Toulouse ; UPS, INSA ; LMDC
(Laboratoire Matériaux et Durabilité des Constructions), France



Prof. Adrian Bejan



Prof. Sylvie Lorente



Wiley から今年出版された
「Design with Constructal Theory」

開催日 2009年10月26日(月) 13.00 ~ 15.00

会場 金沢大学角間キャンパス 自然科学大講義棟 レクチャーホール
[〒920-1192 金沢市角間町]

概要 「The Constructal Law」の提唱者である Bejan 教授をお迎えして、「(熱やあらゆる物の)流れは流動抵抗を極小化したいという意味をもっている」とする「The Constructal Law」の物理法則としての普遍性についてご講演いただきます。また、その応用編として、Lorente 教授からは、生物体の血管や導管システムを模擬して設計された冷却管路パターンによる、熱負荷を受ける物体の冷却の最適化法についてお話いただきます。

問合せ先 金沢大学環日本海域環境研究センター 木村繁男
電話&FAX: (076) 234-4747 E-mail: skimura@t.kanazawa-u.ac.jp